

# みどりのカーテン

## を作いませんか？



「みどりのカーテン」とは、ゴーヤやヘチマ、キュウリなど、つる性の植物を窓際にはわせ、夏の陽射しをさえぎる自然のカーテンです。葉かげや、植物の蒸散作用で、部屋の温度が上がるのを抑えることから、冷房などによる電気の使用を減らし省エネにもつながります。

ここではゴーヤの作り方を紹介します。



## 準備する材料

- **プランター**  
深さが30cmくらいの、できるだけ大型のものを選びましょう。場所がある場合は、地植えしても構いません。
- **種または苗**
- **ネット**  
10cmの網目サイズが適しています。キュウリ用ネットでも代用できます。
- **支柱・竹ざお**  
ネットを張るのに必要です。
- **培養土**  
野菜や花用の培養土が適しています。
- **肥料等**  
ゴーヤの場合は、酸性の土をきらいますので、マグネシウム含有の石灰である「苦土石灰」などを使います。

## スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
種まき・苗づくり	▶							
植付け・ネット貼り		▶						
水やり等の管理		▶						
実の収穫・追肥				▶				
後片付け						▶		

夏には・・・

## みどりのカーテンコンテストを開催します！



市では、地球温暖化防止の一環として、夏の暑い日差しを遮り、室温の上昇を抑えるみどりのカーテンコンテストの普及を目指しています。そこで、この取組の輪をさらに広げるため、「みどりのカーテンコンテスト」を開催し、ご家庭や職場などで作られた「みどりのカーテン」の写真を募集します。詳しくは、裏面の問合せ先まで！

# みどりのカーテンのつくり方【ゴーヤ編】

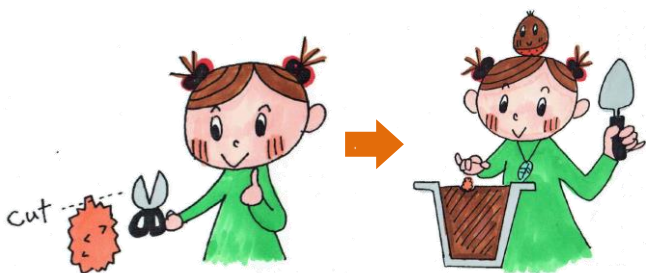
タネをまく時期は、**4月下旬から5月中旬**、苗を植える時期は**5月中旬から6月中旬**が最適です。

## 1 土づくり

■市販の培養土や野菜用の土などを用意します。プランター1個につき、約ひとつかみの分量で苦土石灰を入れ、よく混ぜます。



## 2 種の下準備・植え付け



■種から育てる場合、**種の尖った方を園芸用のはさみや爪切りなどで少しカットしましょう。**中の胚を傷つけないように注意してください。  
■その後タネを一晩水に浸してから、切った部分を下にして植え、1cmほど土をかぶせましょう。  
■**間隔を20cm以上空けて植える**ようにしてください。

## 3 水やり・支柱やネットの設置

■晴天の日は**1日に1回**、朝か夕方にたっぷりあげてください。8月頃は、1日2回くらい必要な日もあるので、様子を見てあげましょう。  
※プランターで栽培する場合は、下の穴から水が出てくるまで、十分にあげてください。  
■ネットを支柱に通し、台風など強い風で倒れたり飛ばされたりしないよう、しっかりと固定してください。



## 4 摘心・追肥

てきしん・ついひ

■葉を茂らすために、**本葉が5～6枚になったらつるの先端をはさみなどで切ります。**(摘心といいます)  
■実がなり始めたら、**月に1～2回程度追肥**をしてください。つるの根元を避けてプランターの縁などに施します。



## 5 完成!



【発行・問合せ】

八王子市環境部環境政策課

八王子市元本郷町三丁目24番1号

TEL: 042-620-7384

FAX: 042-626-4416

Eメール: b110400@city.hachioji.tokyo.jp

